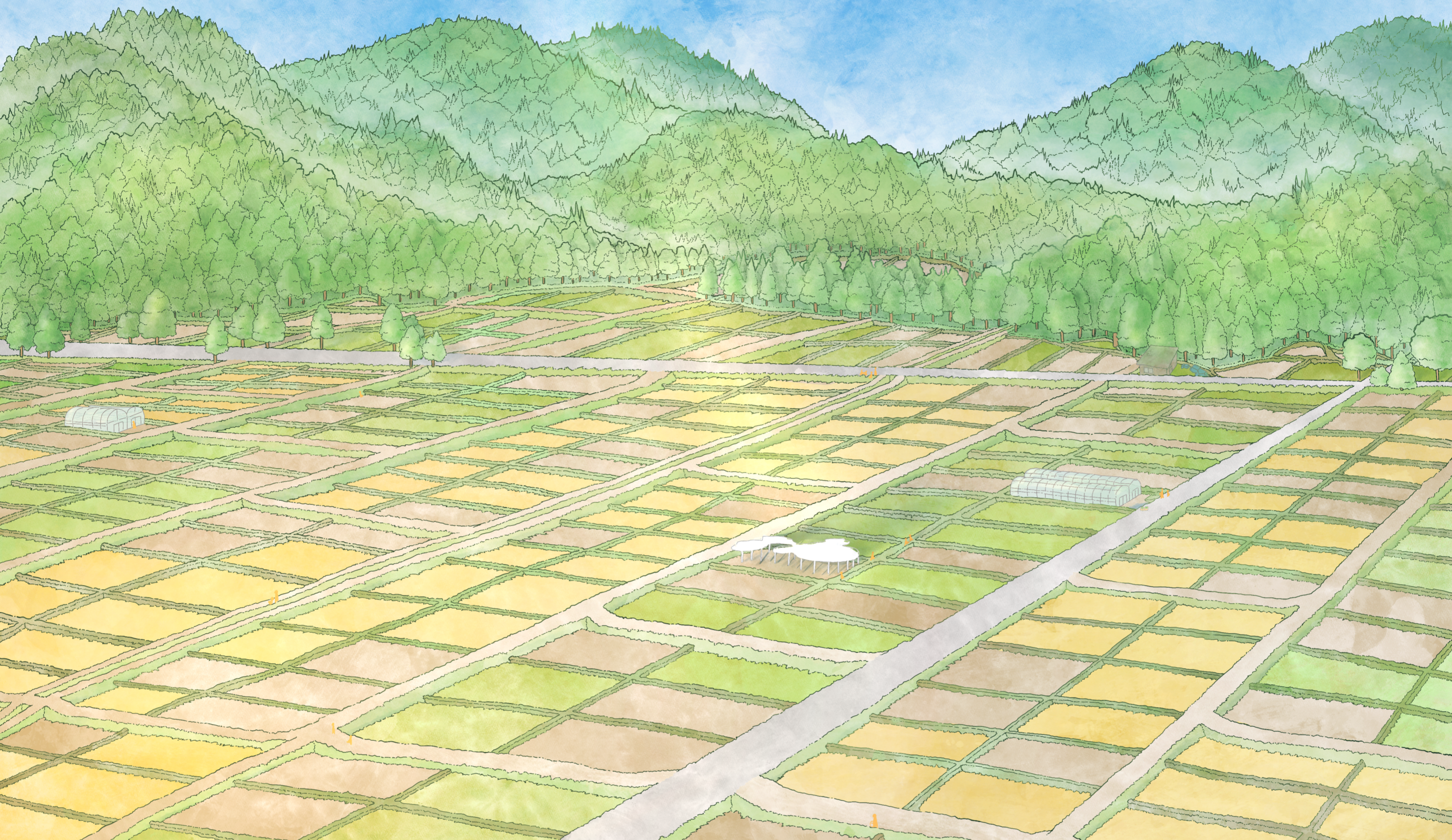
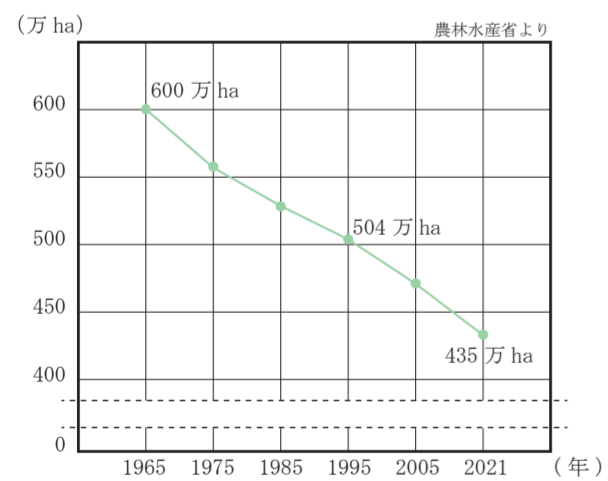


農地の上に暮らす



コンセプト

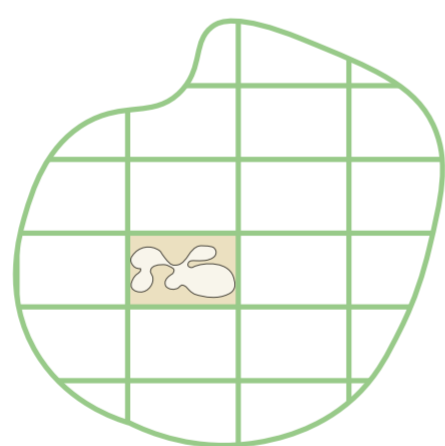
GLはあくまで建物を建てるための基準であり、それがどの高さに設定されても良いと私は考える。私の出身は農業の盛んな地域だ。しかし、年々農地は減少し、ついには隣の地区の農地がすべて宅地になってしまった。そして全国的に見ても、農地は減り続けている。



日本の農地面積の推移

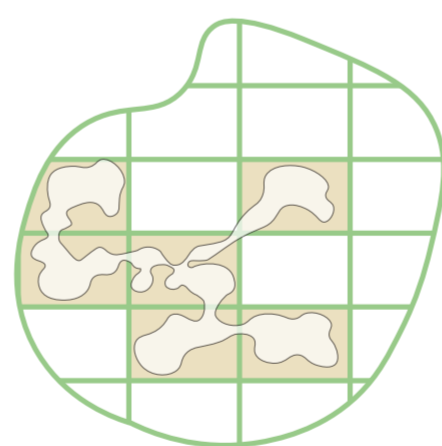
そこで農地の上にGLを設定し、そこを基準として生活することを提案する。この建築が始まりとなり、やがて農地の上を、分裂するアメーバのように広がってゆく。

広がる GL



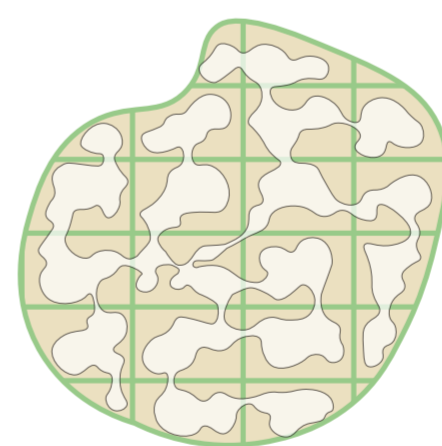
始まり

農地の上に、人間の生活のためのGLをつくる。



広がって

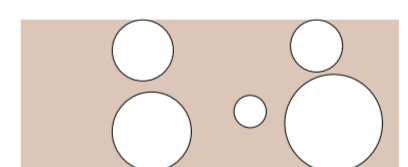
アメーバのように分裂し、他の農地に広がっていく。



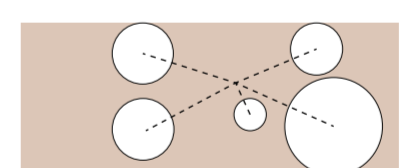
全体に

やがて、農地の上が人間の生活拠点となる。

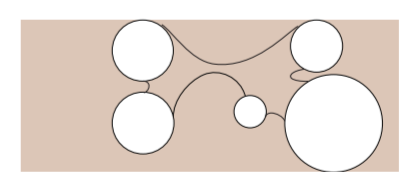
形状



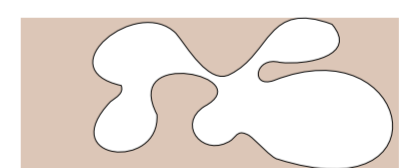
必要なスペースを、大小の円で捉える



スペース同士をつなげる動線を描く



曲線でスペース同士をつなぐ

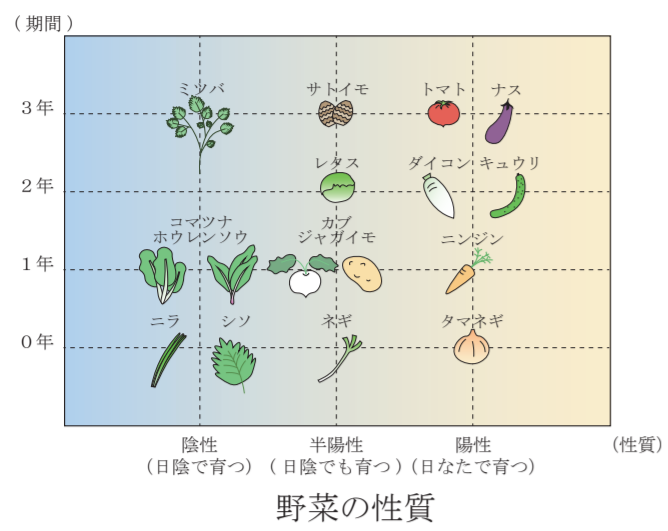


自由曲線にし、柔らかく滑らかにつなげる



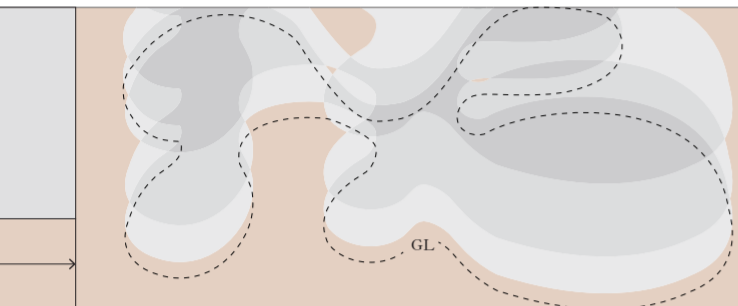
畑で育てる野菜

野菜は日光の当たらなければいけない時間によって、陰性、半陽性、陽性の3つの性質に分けられる。そして、同じ畑で同じものを栽培すると病気になりやすい野菜もある。それを考慮して育てる野菜を決定する。

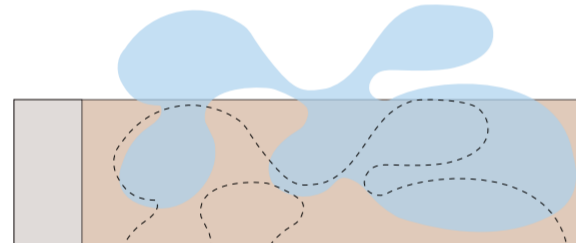
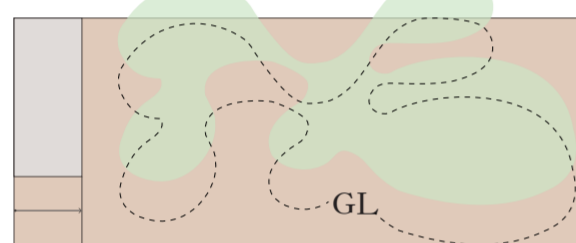
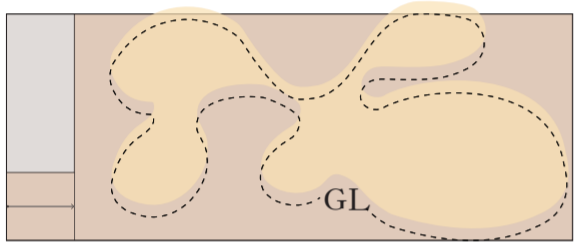


畑の設計

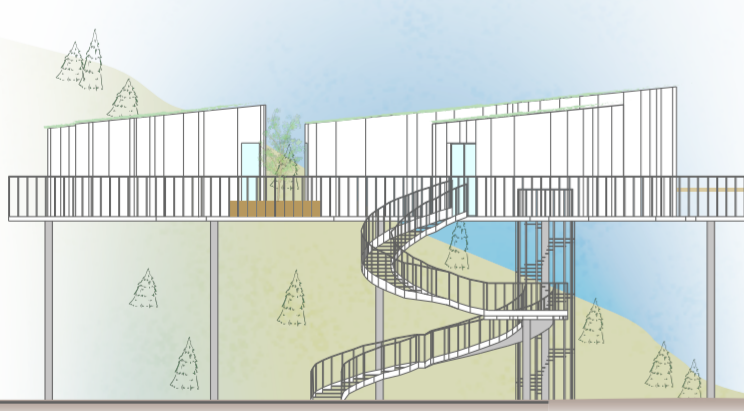
GLによってできる陰は、畑の作物に影響を及ぼす。そこで、陰のできる場所と期間によって育てる作物を変える。基準は最も畑に陰がかかる、太陽が南中した時にする。



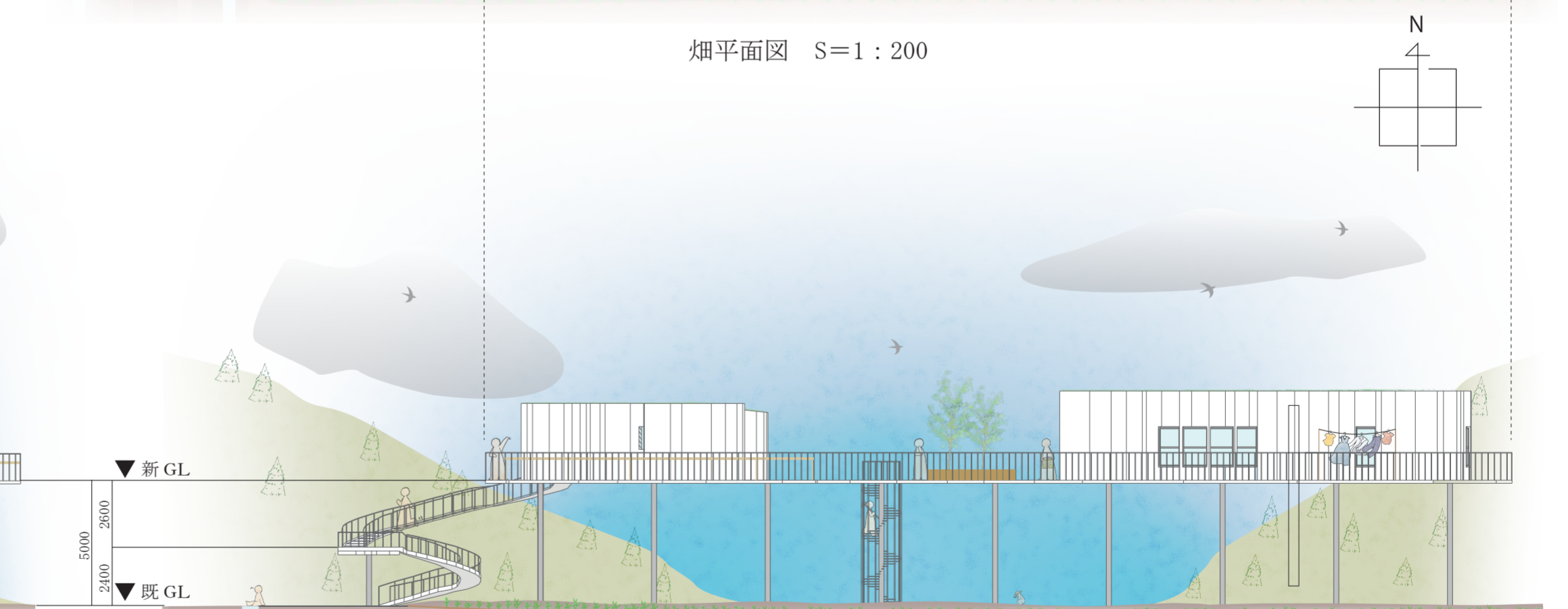
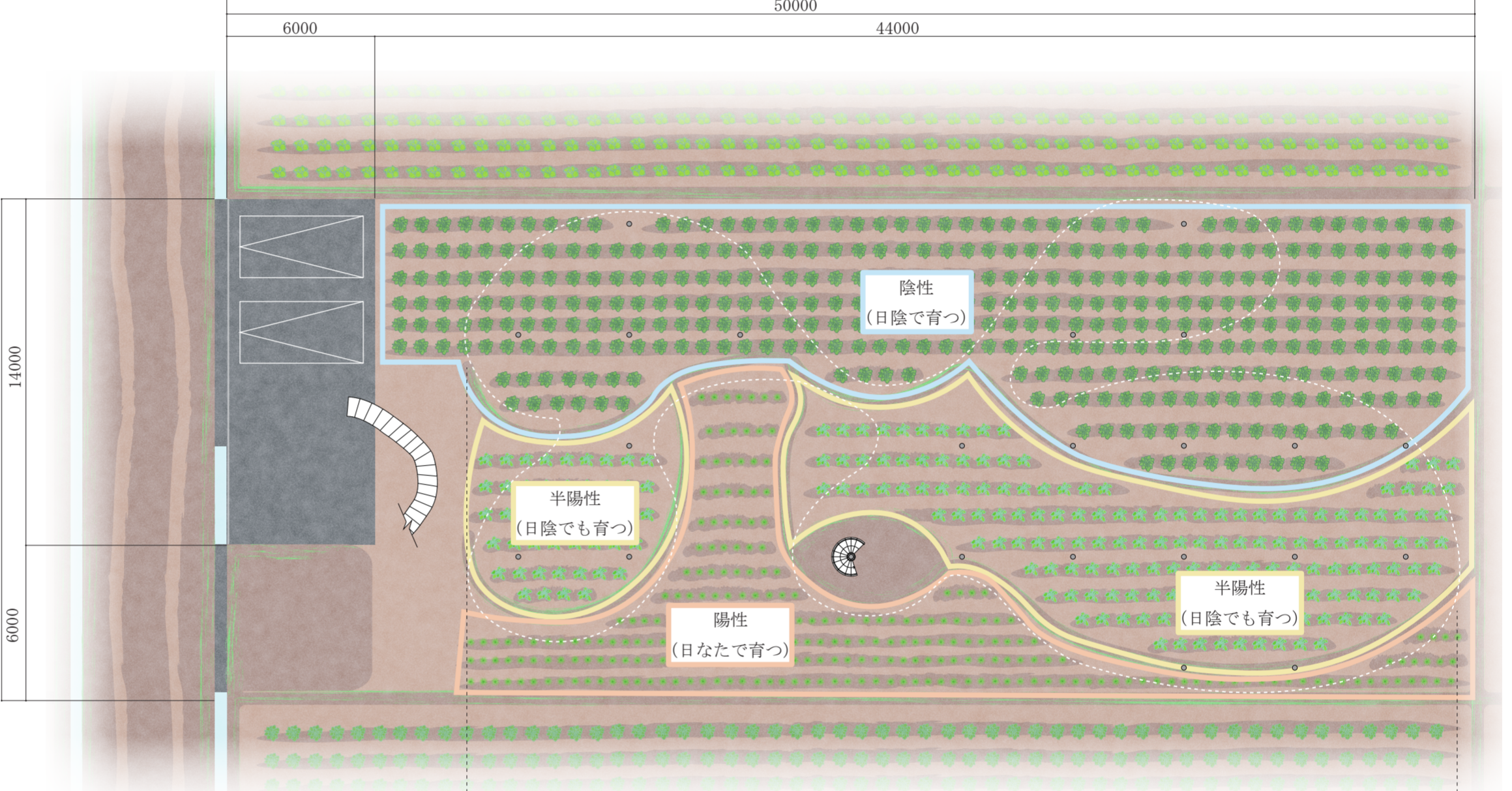
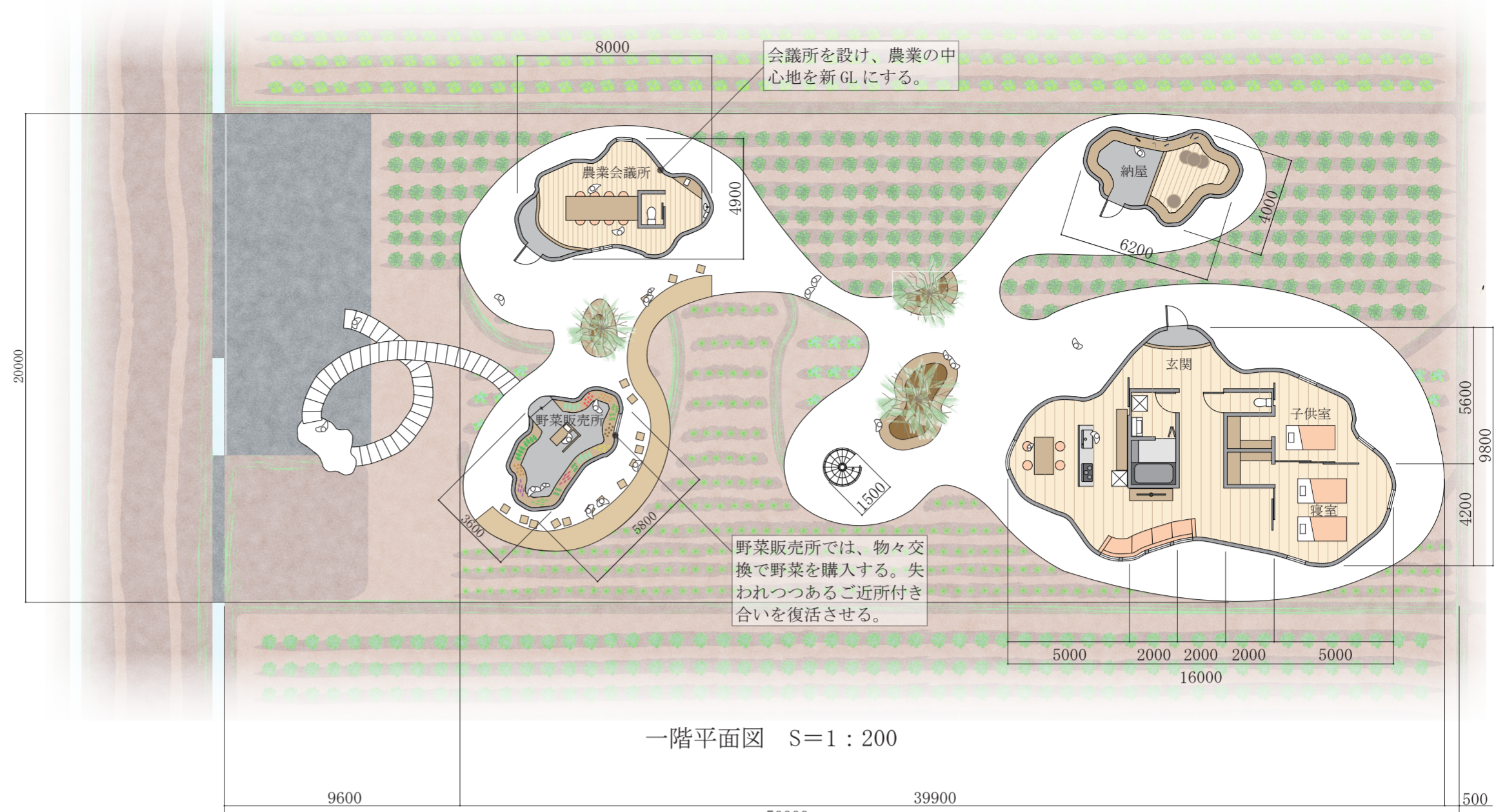
■すべての時期で陰になる ■2つの時期で陰になる ■1つの時期で陰になる



四季の陰の変化



西立面図 S=1:200



南立面図 S=1:200

